

協働のまちづくり 第45回

犬や猫の命を守る アニマルレスキュー

知っていますか?



その2

これまで、そして、これから

無責任な飼い方で飼い主をなくした犬や猫の命を守るために活動する「アニマルレスキューむなかた」。発起人の松井みゆきさん(50歳)に、団体の活動内容や最終目標などを聞きました。

市民活動交流室 ☎(36)0311

犬猫を飼う場合は最後まで責任を

アニマルレスキューむなかたでは、捕獲された犬や猫を県愛護センターなどから預かり、里親を探しています。ここ3年間で、約100匹の犬と猫を世話しました。

「好き」と「飼える」は違うことを理解して、犬や猫を飼う場合は最後まで責任を持ってほしいと思っています。そして小さな命でも、その大切さについて真剣に考えてもらいたいと心から願っています。

無責任なエサやり防止のチラシを作成

この事業の目的は、地域住民のみなさんに猫による被害の状況を十分に認識してもらい、野良猫を排除するのではなく、最終的には地域住民が飼育管理することで、野良猫によるトラブルをなくす試みです。このような活動を「地域猫」と表現

「犬や猫がほしい人なら誰にでも譲るわけではありません。責任を持って最後まで面倒をみる」とが条件です。その判断は話し合いの中でさせてもらいます」と松井さん。「預かり期間中にかかった不妊・去勢手術代や予防接種代金は、新しく里親になった人に負担してもらうことになりま

宗像市消費生活センター

転ばぬ先の杖

☎(33)5454

でばんじちゃん

最近、相談が急増しています 新聞の購読契約は慎重に!



突然、契約した覚えのない新聞が入り出したので販売店に問い合わせると、3年前にわたしがサインした契約書を持って来訪した。そういえば業者が勧誘に来た時に、別の新聞を取っていたので

断ったら、「その契約が終わってから自社の新聞を取ってください」と言って景品を渡されたので、断りきれずに契約書にサインしたことを思い出した。今取っている新聞の契約がまだ残っているため、2紙が重複するので困る。

目が悪くなり新聞が読みづらくなった。解約したいが、あと何年も先まで新聞の購読契約をしている。解約するにはどうしたらいいか。

また、トラブルを避けるために、契約書は契約期間が終わるまで大切に保管してください。

事例1

事例2

アドバイス

「アニマルレスキューむなかたの活動を通じて、小さな命を大切にすることを信じて頑張っています。その日を信じて、アニマルレスキューむなかたの活動は続きます。」

市民のみなさんの理解を得て、きっとそのような日が、近い将来訪れることを信じて頑張っています。その日を信じて、アニマルレスキューむなかたの活動は続きます。」

「終わり」



アニマルレスキューによって救出された子猫

尿被害などが減り、地域の環境美化につながれば、まさに一石二鳥です」と松井さん。

大島の味覚 引き継がれる伝統の味

トウヘイ鍋

大島の郷土料理「トウヘイ鍋」を知っていますか。「トウヘイ」は、本州中部以南の海域に生息するクロアナゴのことで、大島では「トウヘイ(ハブ)」と呼んでいます。大きなもので2mにも達し、アナゴ科魚類で最も大型になる魚です。大島から沖ノ島一帯の豊かな漁場では、潮通しのよい岩礁地帯に多く生息します。

「トウヘイ」は、一見異様な姿と、どう猛さのためか一般的にはあまり食べられないようですが、昔から大島では、漁師の家庭料理としてさまざまな調理法で親しまれてきました。中でも、みそ仕立てで甘みのある「トウヘイ鍋」は格別です。豪快にぶつ切りにした身とキャベツ、春菊などの季節の野菜、豆腐などと一緒に煮込んだ鍋は、淡泊な白身に脂身から出る旨味が染み込み、大島でしか味わうことのできない逸品です。以前、「漁師だった父が捕ったトウヘイの味が忘れられない」と大島のトウヘイ鍋の評判を聞きつけた岡山県の人が大島を訪れ、その味を懐かしんだそうです。

これまで、旅館や民宿の宿泊者に、トウヘイが捕れた時だけ提供していましたが、宗像観光協会大島支部では、島内の旅館や民宿、飲食店に呼びかけてメニューの研究を開くなど「トウヘイ鍋」を大島の名物料理にしようと取り組んでいます。大島が誇る郷土の味「トウヘイ鍋」。ぜひ一度味わってみてはいかがでしょうか。

■問い合わせ先 大島観光案内所 ☎(72)2226

多重債務電話相談

■県弁護士会 毎週土曜日 10:00~13:00 *祝日は休み ☎092(721)6778

■福岡財務支局 毎週月~金曜日 9:00~17:00 *年末年始、祝日は休み ☎092(411)7291